

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

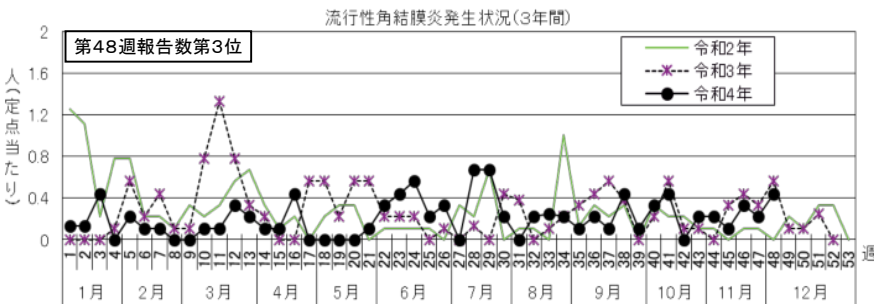
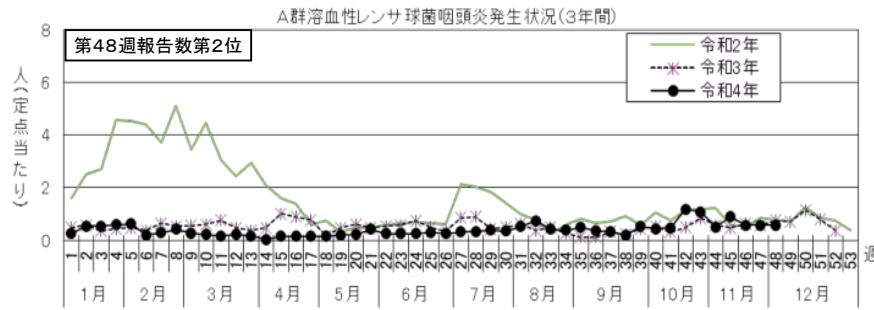
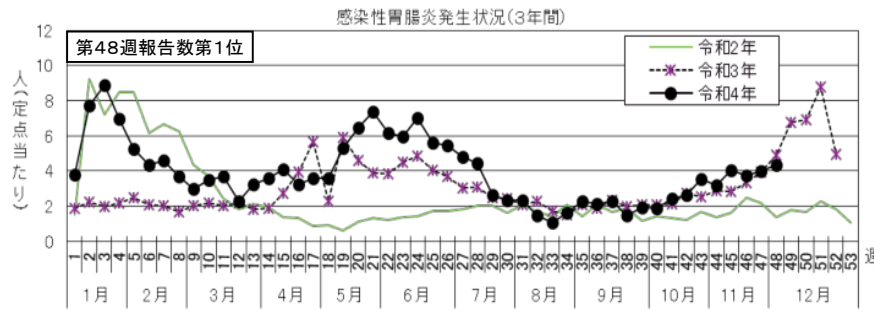
令和4年11月28日（月）～令和4年12月4日（日）〔令和4年第48週〕の感染症発生状況

第48週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3) 流行性角結膜炎でした。

感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は4.32人と前週（3.97人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は0.57人と前週（0.57人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。

流行性角結膜炎の定点当たり患者報告数は0.44人と前週（0.22人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。



感染性胃腸炎の感染拡大を防ぎましょう！

感染性胃腸炎は、細菌やウイルス等を原因とする感染症で、冬季を中心に流行し、例年12月から1月にピークを迎えます。川崎市においては、第48週（11月28日～12月4日）の定点当たり報告数が4.32人となり、10月以降増加傾向が続いています。

感染の拡大を防止するためには、ウイルスが飛び散らないように、患者のふん便や吐ぶつを適切に処理することが重要です。汚染された床等は、必要な濃度の塩素消毒液等を用いて消毒を行いましょう。

ふん便や吐ぶつの処理方法

- ① 使い捨てのガウン（エプロン）やマスク、手袋を着用
- ② ペーパータオル等で吐ぶつ等を静かに拭き取る。
- ③ 床等は塩素消毒液で浸すように消毒後、水拭き
- ④ 拭き取りに使用したペーパータオル等は、廃棄物が十分に浸る量の塩素消毒液を入れたビニール袋に密閉して廃棄
- ⑤ 手袋をしていても、処理後に流水と石けんで手洗い

※処理中や処理後は、空気の流れに注意しながら十分に換気

塩素消毒液（次亜塩素酸ナトリウム希釈液）の作り方

食器、カーテン等の消毒や拭き取り (0.02% (200ppm)の塩素消毒液)		
製品濃度	次亜塩素酸ナトリウムの量	水の量
12%	5ml	3L
6%	10ml	3L
1%	60ml	3L

おう吐物等の廃棄(袋の中で廃棄物を浸す) (0.1% (100ppm)の塩素消毒液)		
製品濃度	次亜塩素酸ナトリウムの量	水の量
12%	25ml	3L
6%	50ml	3L
1%	300ml	3L

※おう吐物等の酸性のものに直接原液をかけると、有毒ガスが発生することがありますので、必ず「使用上の注意」をよく読んでから使用してください。

※次亜塩素酸ナトリウムは使用期限内のものを使用してください。